



クライメート・ボンド・イニシアチブ (Climate Bonds Initiative) CEO ショーン・キドニー氏
(Mr. Sean Kidney)と座談会を開催しました

2024年8月8日(木)、クライメート・ボンド・イニシアチブ (Climate Bonds Initiative) CEO ショーン・キドニー氏をGX推進機構にお招きし、座談会を開催しました。

キドニー氏から「日本のGX政策は世界の脱炭素化に向けて大変重要であり、GX推進に特化した機関としてGX推進機構が設立されたことを大変嬉しく思う」というメッセージなど今後の期待を含めてお話しいただきました。

GX推進機構は、国内外のGX関連の政策、企業、技術、金融等の動向に関する調査・研究を積極的に行うとともに、こうしたGX政策等について、異業種の企業同士が学び合い、共創・連携するための学びの場を設定・提供します。こうした取組みを通じてGX推進機構がGX推進の「ハブ」となる、「GX Future Academy」構想を検討しております。その一環として、GX推進機構は、クライメート・ボンド・イニシアチブ（以下「Climate Bonds」といいます。）のショーン・キドニーCEOをお招きして座談会を開催しましたので、概要とキドニー氏による主な発言を公表いたします。

Climate Bondsは気候変動対策にグローバルな資本を動員することを目的とした国際的なNGOであり、サステナブル・ファイナンスの分野で世界的な影響力を持っているとともに、世界中の投資・金融業界の「クライメート・ボンド・パートナー」と協力して、「クライメート・ボンドの基準」や「分類法」を開発しています。更に、環境分野への取組みに投資する資金のフローを支援するような政策や規制当局の施策を提唱し、グリーン・ボンド等のグリーン資産の創出を促しています。

Climate Bondsは、2024年2月に日本政府が発行した第1回クライメート・トランジション利付国債¹に、投資家や政府が脱炭素投資を行う際のスクリーニング・ツールである「クライメート・ボンド基準 (Climate Bonds Standard)」に適合していることを示す「クライメート・ボンド認証 (Climate Bonds Certification)」を付与しました。クライメート・ボンド認証は、投資家に対して「資金使途が環境目標に合致していること」を保証し、クライメート・トランジション利付国債がグローバル基準のベストプラクティスに沿っていることを示しています。

¹ クライメート・トランジション利付国債とは、「GX経済移行債」において、国際標準への準拠について評価機関から認証を取得した個別銘柄として発行されるものをいいます。5年債は2024年2月27日に、10年債は同年2月14日に入札が実施されました。



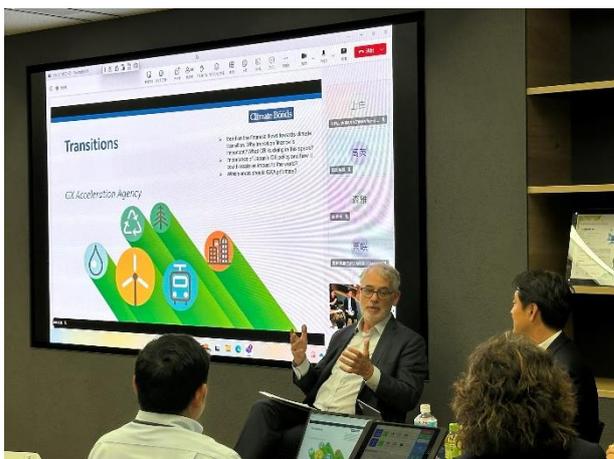
1. Climate Bonds CEO ショーン・キドニー氏との座談会の概要

[日時]	2024年8月8日(火)16:00~17:00
[場所]	GX推進機構オフィス、オンライン
[参加者]スピーカー:	Climate Bonds CEO ショーン・キドニー氏
モデレーター:	GX推進機構理事 高田英樹
参加者:	GX推進機構職員、金融庁、環境省
[座談会テーマ]	気候変動対策における資金の流れの動向と我が国GX政策に対する評価

2. ショーン・キドニー氏による主な発言

- ・ 日本のGX政策は世界の脱炭素化に向けて大変重要であり、GX推進に特化した機関としてGX推進機構が設立されたことを大変嬉しく思う。まさに、自分の夢の実現に向けた一歩である。
- ・ 世界的な金融機関が脱炭素に向けて各種の連携協定を結ぶなど、投資家の意識はポジティブに変化してきたことから、サステナブル債(GSS債<Green, Social and Sustainability Bond>等)の発行額は2014年と比較して100倍にも増えた。特に、グリーン・ボンドの発行額が大きく増えている。
- ・ そうした中、日本政府が世界で初めて発行したトランジション・ボンドであるクライメート・トランジション利付国債は、「サステナブル債の世界に新しい幕を開けた」と高く評価している。今のところ、海外投資家のトランジション・ボンドに対する認知は低い。しかし、クライメート・トランジション利付国債の発行を続けていけば、トランジション・ファイナンス²の理念は海外投資家にも浸透していこう。
- ・ 脱炭素を実現していくことは難しく、問題は山積している。日本のGX政策は完璧ではないが、どの国の政策も完璧ではない。さらに取組みを強化していくことで、日本はこの分野のグローバル・リーダーとなり、グリーン国際金融センターを実現することができる。GX推進機構には、そのための大きな挑戦と機会が待ち受けている。

² トランジション・ファイナンスとは、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略に則り、着実なGHG削減の取組を行う企業に対し、その取組を支援することを目的とした新しいファイナンス手法です。



(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構

担当者：財務・サステナビリティ推進部

高林、天達、清水、吉倉

メール：gx_acceleration_agency★gxa.go.jp

※[★]を[@]に置き換えてください。